

抽象絵画を楽しむ [入門編]

—見る・感じる・考える—



何が描かれているのかわからないと敬遠されることもある抽象美術。抽象絵画は20世紀に登場した比較的新しい美術表現です。

三重県立美術館で開催する「没後30年 諏訪直樹展」(2020年2月1日～4月5日)にちなんで、抽象絵画が生まれた背景や理由、この100年間に描かれた世界の様々な抽象表現についてわかりやすく解説します。

絵を見るポイントを具体的に紹介し、抽象画になじみのない方にも見方、楽しみ方のヒントを提供する講座です。

諏訪直樹《PH-2-8602》1986年
三重県立美術館蔵

日時 2020年2月8日(土) 13時30分～15時
会場 絵かきの町大王美術ギャラリー2F展示室(大王町波切 3234-2)
演題 抽象絵画を楽しむ [入門編] —見る・感じる・考える—
講師 速水 豊(三重県立美術館長)

主催 三重県立美術館友の会、三重県立美術館
共催 志摩市、公益財団法人三重県立美術館協力会
後援 志摩市教育委員会

聴講無料/定員50名 要申込 /2020年1月31日締切

申込受付 大王美術ギャラリー (Tel: 0599-72-4336 Fax: 0599-72-4317)
三重県立美術館友の会事務局 (Tel: 059-227-2232 Fax: 059-223-0570)

問合せ 三重県立美術館友の会事務局 (Tel: 059-227-2232)